

水痘 (水ぼうそう)

どんな病気？



水痘は感染力の強い水痘帯状疱疹ウイルスによっておこる病気です。発熱、水ぶくれを伴う発しんが主な症状で、中には重症化し入院する場合があります。特に白血病児やステロイド剤などを服用しているネフローゼ患児等、免疫状態の悪い小児がかかると、重篤になりやすく大変危険です。

ワクチンの接種対象

定期接種は、生後12か月から生後36か月に至るまでの、水痘にかかったことがない方が対象です。標準的スケジュールは、生後12か月から15か月までの間に1回目の接種を行います。2回目の接種は1回目の接種から3か月以上の間隔をあけて行います。